

[報 告]

SC11報告

東北大学サイバーサイエンスセンター 小林広明

2011年11月12日～18日に米国ワシントン州シアトル市において International Conference for High Performance Computing, Networking, Storage and Analysis (通称 SC)が開催されました。SCはスーパーコンピューティングとその関連技術に関する世界最大の国際会議であり、参加者は1万人を超え、その年の最新の研究成果・製品が学界、産業界から発表されてきました。今回、SC11(11は開催年を意味する)に参加し、サイバーサイエンスセンターの研究活動の展示を行ってきましたので、その報告をします。

SC11は技術論文が発表される本会議と大学・研究所・企業等が最新の成果・製品を発表する展示会から構成され、サイバーサイエンスセンターは流体科学研究所と金属材料研究所と連携し、東北大学としてスーパーコンピューティングに関する活動についての展示を行いました。東北大学展示ブースでは、サイバーサイエンスセンターのスパコンシステムの紹介をはじめ、ベクトルクラウドや3次元積層型ベクトルプロセッサなど次世代高性能計算基盤技術に関する最新の研究成果を紹介しました。また、スパコン研究部に所属する大学院学生5名も帯同させ、各自が取り組む高性能計算技術に関する成果発表も行いました。14～17日の4日間の展示会期間中、東北大学展示ブースへの訪問者は300名以上にものぼり、活発な情報交換を行うことができました。また、訪問者にはセンター紹介パンフレット、手ぬぐい、SX-9折り紙などをくばり、特に折り紙は外国の方々に非常に好評でした。(作り方はyoutubeでも見られます。http://www.youtube.com/watch?v=J60eh_5fnPY)

今年のSC12は11月10日～16日にユタ州ソルトレイク市で行われる予定です。



展示の様子

東北大学展示スタッフ